



2026年12月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月12日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン

上場取引所 東

コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大澤 弘毅

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ ディレクター (氏名) 長島 正光

TEL 03-6824-6440

半期報告書提出予定日 2026年8月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年1月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	3,522	4.0	442	5.7	445	6.4	289	6.0
2025年12月期中間期	3,385	22.1	418	12.3	419	12.0	272	9.9

(注) 包括利益 2026年12月期中間期 295百万円 (10.5%) 2025年12月期中間期 267百万円 (4.2%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	30.01	—
2025年12月期中間期	28.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	7,178	5,999	83.6
2025年12月期	7,164	5,945	83.0

(参考) 自己資本 2026年12月期中間期 5,999百万円 2025年12月期 5,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	10.00	—	25.00	35.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年12月期の第2四半期末配当金10円は、設立30周年記念配当であります。

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	3.5	880	3.3	880	3.0	570	2.5	59.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期中間期	10,242,000 株	2025年12月期	10,242,000 株
2026年12月期中間期	607,305 株	2025年12月期	607,305 株
2026年12月期中間期	9,634,695 株	2025年12月期中間期	9,634,695 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (中間期)

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年8月18日 (火) にアナリスト向け説明会をオンライン開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移したほか、企業の設備投資も継続的な成長投資需要に支えられ、緩やかな回復基調を維持しました。インバウンド需要についても高水準で推移し、サービス関連産業を中心に景気を下支えする要因となりました。

一方で、海外経済においては、米国の通商政策や関税政策を巡る不透明感、中国経済の成長減速懸念、欧州主要国における金融政策の動向等に加え、ウクライナ情勢や中東情勢をはじめとする地政学的リスクが継続しており、世界経済の先行きについては依然として不透明な状況が続きました。また、国内においても物価上昇や為替相場の変動が個人消費や企業業績に与える影響について注意が必要な状況が続きました。

このような環境下、当社事業と関連性の高い証券市場においては、世界的な生成AI関連投資の拡大や企業業績への期待感を背景として、堅調な推移となりました。一方で、米国金融政策の見通しや国際情勢の変化を受け、市場の変動性が高まる局面も見られましたが、投資家のリスク選好姿勢は総じて維持されました。国内株式市場では企業の資本効率改善や株主還元強化への期待も相場を支える要因となり、2026年6月末時点の日経平均株価は70,000円台と、引き続き高水準で推移しました。

また、投資信託市場においては、新NISA制度の定着が一段と進み、個人投資家による中長期の資産形成ニーズが引き続き拡大しました。積立投資を中心とした安定的な資金流入に加え、株式市場の堅調な推移による運用資産残高の増加も追い風となるなど、資産運用ビジネスを取り巻く事業環境は良好に推移し、公募投資信託市場の純資産総額は過去最高水準となりました。

このような状況の中、当中間連結会計期間の業績は、売上高は3,522百万円（前年同期比4.0%増）となりました。利益面につきましても、売上高の増加を背景に、営業利益は442百万円（前年同期比5.7%増）となりました。また、経常利益は445百万円（前年同期比6.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は289百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

機関投資家や証券会社向けに展開している各種サービスでは、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』が前年に引き続き、堅調に推移しました。また、前年に計上した将来の案件拡大に備えた体制強化費用の減少もあり、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は785百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は330百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・配送サービスは、大口顧客における帳票改訂が当中間連結会計期間に行われたことにより、売上高は堅調に推移しました。また、企業年金関連サービスは、売上高が堅調に推移したものの、提供サービスの品質向上及び安定運用を目的とした体制強化に伴い保守費用が増加したため、前年同期比で増収減益となりました。

その結果、売上高は909百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は65百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託関連の編集・印刷・配送サービスは、全体的に印刷部数は減少傾向にあるものの、新ファンド関連の部数増加により業績は前年同期を上回りました。また、マーケティング支援として顧客のWebサイト構築案件を受注したことにより、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は747百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は183百万円（前年同期比61.4%増）となりました。

<ITソリューション事業>

事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、売上高はほぼ横ばいとなりましたが、高利益率案件の減少により、前年同期比で増収減益となりました。

その結果、売上高は431百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は51百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

<ランゲージソリューション事業>

グローバル企業等向けの翻訳・通訳サービスは、顧客のAI活用による翻訳業務の内製化進展に伴う受注の減少により、前年同期比で減収減益となりました。

その結果、売上高は647百万円(前年同期比8.9%減)、営業利益は35百万円(前年同期比27.0%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ13百万円増加し、7,178百万円となりました。

流動資産合計は77百万円増加し、5,982百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が96百万円減少した一方で、現金及び預金が223百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は63百万円減少し、1,196百万円となりました。主な要因は、無形固定資産が54百万円減少し、有形固定資産が8百万円減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、1,179百万円となりました。

流動負債は18百万円減少し、924百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が27百万円増加した一方で、その他(未払金)が44百万円減少したことによるものであります。

固定負債は21百万円減少し、254百万円となりました。

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、5,999百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益289百万円の計上による増加と、株主還元として実施した剰余金の配当240百万円の支払によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ223百万円増加し、4,792百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、取得した資金は505百万円(前年同期は147百万円の取得)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益446百万円、売上債権の減少額128百万円、減価償却費69百万円、法人税等の還付額42百万円であります。また、支出の主な内訳は、法人税等の支払額139百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は40百万円(前年同期は46百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出33百万円、有形固定資産の取得による支出13百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は241百万円(前年同期は188百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額240百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月12日公表の2026年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,037,597	5,261,549
受取手形、売掛金及び契約資産	737,501	640,548
その他	130,340	80,634
流動資産合計	5,905,439	5,982,732
固定資産		
有形固定資産	137,927	129,169
無形固定資産		
のれん	216,633	188,356
ソフトウェア	199,010	181,063
ソフトウェア仮勘定	—	15,087
その他	410,969	387,569
無形固定資産合計	826,614	772,077
投資その他の資産		
その他	295,344	294,815
貸倒引当金	△380	—
投資その他の資産合計	294,964	294,815
固定資産合計	1,259,506	1,196,062
資産合計	7,164,946	7,178,794
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,214	286,192
未払法人税等	143,539	170,668
賞与引当金	24,439	19,671
その他	513,275	448,402
流動負債合計	943,468	924,935
固定負債		
役員退職慰労引当金	63,900	63,900
退職給付に係る負債	37,657	38,714
その他	174,497	151,470
固定負債合計	276,054	254,084
負債合計	1,219,523	1,179,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	5,184,992	5,233,342
自己株式	△92,600	△92,600
株主資本合計	5,913,211	5,961,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	353	519
為替換算調整勘定	31,857	37,694
その他の包括利益累計額合計	32,211	38,213
純資産合計	5,945,422	5,999,775
負債純資産合計	7,164,946	7,178,794

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,385,470	3,522,361
売上原価	1,963,421	2,058,615
売上総利益	1,422,049	1,463,745
販売費及び一般管理費	1,003,282	1,021,256
営業利益	418,766	442,489
営業外収益		
受取利息	1,596	3,661
受取配当金	181	181
持分法による投資利益	59	43
その他	511	935
営業外収益合計	2,348	4,821
営業外費用		
支払利息	14	10
為替差損	1,987	239
貸倒損失	—	1,155
その他	0	—
営業外費用合計	2,001	1,405
経常利益	419,113	445,906
特別利益		
固定資産売却益	—	424
特別利益合計	—	424
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社清算損	2,360	—
特別損失合計	2,360	0
税金等調整前中間純利益	416,753	446,331
法人税、住民税及び事業税	121,581	165,505
法人税等調整額	22,425	△8,392
法人税等合計	144,006	157,113
中間純利益	272,746	289,217
親会社株主に帰属する中間純利益	272,746	289,217

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	272,746	289,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	165
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,458	5,837
その他の包括利益合計	△5,495	6,002
中間包括利益	267,251	295,220
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	267,251	295,220

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	416,753	446,331
減価償却費	64,354	69,636
のれん償却額	28,277	28,277
賞与引当金の増減額 (△は減少)	406	△4,768
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△120,000	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,489	1,056
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△380
受取利息及び受取配当金	△1,777	△3,842
持分法による投資損益 (△は益)	△59	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	6,153	128,424
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,371	23,977
固定資産売却益	—	△424
固定資産除却損	0	0
関係会社清算損益 (△は益)	2,360	—
未払又は未収消費税等の増減額	4,560	△10,844
その他	△71,863	△78,513
小計	337,027	598,885
利息及び配当金の受取額	1,777	3,842
利息の支払額	△14	△10
法人税等の支払額	△192,947	△139,541
法人税等の還付額	1,767	42,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,610	505,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,116	△13,415
有形固定資産の売却による収入	—	1,800
無形固定資産の取得による支出	△36,366	△33,286
投資有価証券の償還による収入	16	16
定期預金の預入による支出	△47	△484
差入保証金の回収による収入	5	5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,507	△40,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△187,876	△240,867
リース債務の返済による支出	△651	△654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,527	△241,521
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△87,424	223,467
現金及び現金同等物の期首残高	4,431,094	4,569,298
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,343,670	4,792,766

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンド ディスク ロージャ ー事業	ITソリュ ーション 事業	ランゲー ジソリュ ーション 事業			
売上高								
ドキュメント	-	730,397	630,772	-	-	1,361,170	-	1,361,170
Webサービス	685,730	-	-	-	-	685,730	-	685,730
受託開発	66,509	111,775	17,424	142,143	-	337,852	-	337,852
翻訳・通訳	-	-	-	-	507,857	507,857	-	507,857
その他	-	-	-	289,578	203,282	492,860	-	492,860
外部顧客への売上高	752,239	842,173	648,196	431,721	711,139	3,385,470	-	3,385,470
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,605	17,512	-	80,227	250	99,594	△99,594	-
計	753,844	859,686	648,196	511,948	711,389	3,485,065	△99,594	3,385,470
セグメント利益	297,601	108,246	113,550	59,531	48,501	627,432	△208,666	418,766

(注) 1. セグメント利益の調整額△208,666千円には、セグメント間取引消去△2,122千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△206,543千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前連結会計年度において、株式会社テンナイン・コミュニケーションの株式を取得し連結範囲に含めたことに伴い、暫定的な会計処理を実施しておりましたが、当中間連結会計期間において、当該会計処理が確定いたしました。この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得原価の当初配分額を見直した結果、暫定的に算定されたのれんの金額523,891千円は、会計処理の確定により306,118千円減少し、217,773千円となっております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンド ディスク ロージャー事業	ITソリュ ーション 事業	ランゲー ジソリュ ーション 事業			
売上高								
ドキュメント	—	826,574	734,766	—	—	1,561,341	—	1,561,341
Webサービス	722,776	—	—	—	—	722,776	—	722,776
受託開発	62,545	83,404	12,740	33,654	—	192,344	—	192,344
翻訳・通訳	—	—	—	—	456,567	456,567	—	456,567
その他	—	—	—	398,187	191,143	589,331	—	589,331
外部顧客への売上高	785,321	909,979	747,506	431,842	647,711	3,522,361	—	3,522,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,710	31,394	—	121,386	—	154,491	△154,491	—
計	787,031	941,373	747,506	553,228	647,711	3,676,852	△154,491	3,522,361
セグメント利益	330,163	65,530	183,293	51,687	35,409	666,083	△223,593	442,489

(注) 1. セグメント利益の調整額△223,593千円には、セグメント間取引消去△62千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△223,531千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。